

様式第4号(第6条関係)

受付番号	選考番号	書類選考	関係官公署照会
※	※	※	※

年 月 日

八峰町長 宛て

氏 名

地域活性化住宅の入居許可について（申請）

次のとおり地域活性化住宅に入居したいので、八峰町地域活性化住宅管理条例第6条第1項の規定により、申請します。
この申請書に記載した事項は事実と相違なく、虚偽の記載があるときは、入居の許可を受けられず、又は取り消されても異議ありません。

入居を希望する住宅		団地 棟 号															
申請者	現住所	(電話番号 - -)															
	勤務先	所在地	(電話番号 - -)														
		名称															
入居しようとする者	ふりがな氏名	申請者との関係	生年月日	年齢	職業	勤務先の所在地及び名称	同居又は別居の別	所得年額	控除対象(該当する欄に○印を付けてください)								備考
									給与所得又は公的年金等所有する者	控除対象配偶者又は扶養親族	老人控除対象配偶者	老人扶養親族	特定扶養親族	障害者	特別障害者	寡婦又は寡夫	
		本人						円									
								円									
								円									
								円									
								円									
別居する控除対象配偶者又は扶養親族								円									
※高齢者世帯		※同居者18歳未満			障害者等を含む世帯			(1) ・ (2) ・ (3) ・ (4) ・ (5) ・ (6) ・ (7)									
誓約同意書		<p>八峰町長 様</p> <p>私たちは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員であることが判明したときは、地域活性化住宅を明渡すことを誓約します。 また、資格審査のための照会が関係官公署に対してなされることに同意します。</p> <p style="text-align: right;">自 署</p>															

区 分	具体的内容	
	1 住宅以外の建物又は場所に居住している。	
2 保安上危険又は衛生上有害な状態にある住宅に居住している。		
3 他の世帯と同居して著しく生活上の不便を受けている。		
4 住宅がないため親族と同居できない。	別 居 先	
5 住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上又は風教上不適当な居住状態にある。		
6 正当な事由による立退き要求を受けているが適当な立退き先がない (自己の責めに帰すべき事由に基づく場合を除く。)		
7 遠距離通勤をしている。	交 通 手 段	
	片道所要時間	時 間 分
8 収入に比して過大な家賃を支払っている。	現在の家賃月額	円
9 婚約中であるが収入が低額であるため適当な居宅が見つからない。		
10 その他		

入居希望者の住宅の困窮事情(該当する番号を○で囲んでください。)

- (注)
- 1 申請は1回の公募につき、1世帯1戸限りです。
 - 2 郵送による申請はできません。
 - 3 「所得年額」欄には、次に掲げる額を記入してください。
 - (1) 前年の所得金額に係る所得証明書(所得の種類、扶養親族の数及び各種の控除の内容が記載されているものに限る。以下同じ。)が発行されている場合は、その合計所得の欄に記載されている額
 - (2) 前年の所得金額に係る所得証明書が発行されていない場合は、次に掲げる額の金額。
 - ア 給与所得にあっては、前年分の源泉所得票の給与所得控除の給与等の金額の欄に記載されている額
 - イ 給与所得以外の所得にあっては、前年の収入額から必要経費の額を控除した額
 - 4 申請者又は同居予定者が次のいずれかに該当する場合は、「障害者等を含む世帯」欄の該当する番号を○で囲んでください。
 - (1) 身体障害者でその障害の程度が1級から4級までのもの
 - (2) 精神障害者でその障害の程度が1級又は2級のもの
 - (3) 知的障害者(精神薄弱者)でその日常生活における支障の程度が(2)に掲げる者と同程度のもの
 - (4) 戦傷病者でその障害の程度が特別項症から第6項症まで、又は第1款症のもの
 - (5) 被爆者
 - (6) 非保護者
 - (7) 引揚者で引き揚げた日から5年を経過していないもの
 - 5 前年において、年の中途で就職し、又は退職した場合は「備考」の欄にその旨及びその期日を記入してください。
 - 6 ※印欄には記入しないでください。
 - 7 次に掲げる書類を添付してください。
 - (1) 申請書に記載した者全員の住民票の写し(住民登録しないで遠隔地に居住している特定扶養親族等にあつては、在学証明書、学生証等の写し)
 - (2) 申請書及び同居予定者の市町村長の発行する前年の所得金額に係る所得証明書(当該証明書が発行されていない場合は、給与所得者にあつては前年分の源泉徴収票、及び前々年の所得金額に係る所得証明書、事業所得者等にあつては確定申請書その他の前年の所得金額を明らかにした書類で税務署が受理した旨が明示されているもの、及び前々年の所得金額に係る所得証明書)
 - (3) 退職等により過去1年間に収入がなかった場合は、公共職業安定所の発行する離職票(雇用保険未加入者にあつては、事業主の発行する退職証明書)
 - 8 障害者等を含む世帯であることを証明する書類を添付し、又は申請の際に提示してください。
 - 9 住宅の困窮事情を明らかにした書類を添付し、又は申請の際に提示してください。

様式第4号(第6条関係)

受付番号	選考番号	書類選考	関係官公署照会
※	※	※	※

令和 6 年 4 月 11 日

八峰町長 宛て

氏 名

地域活性化住宅の入居許可について（申請）

次のとおり地域活性化住宅に入居したいので、八峰町地域活性化住宅管理条例第6条第1項の規定により、申請します。
この申請書に記載した事項は事実と相違なく、虚偽の記載があるときは、入居の許可を受けられず、又は取り消されても異議ありません。

入居を希望する住宅		八峰第3 閉地 K 棟 3 号																
申請者	現住所	秋田県山本郡八峰町五丁目4-12												(電話番号 0185 - 76 - 0000)				
	勤務先	所在地	秋田県山本郡八峰町三丁目55-1												(電話番号 0185 - 76 - 0000)			
		名称	株式会社 八峰建設															
入居しようとする者	ふりがな	申請者との関係	生年月日	年齢	職業	勤務先の所在地及び名称	同居又は別居の別	所得年額	控除対象(該当する欄に○印を付けてください)								備考	
	はっほう 八峰 太郎	本人	S49.6.11	49	会社員	(株)八峰建設	同居	2,500,152円										
	はっほう 八峰 良子	妻	S49.9.20	49	パート	(有)峰浜飲料	同居	300,000円	○									
	はっほう 八峰 三郎	次男	H20.7.10	15	高校生	八峰高校	同居	円	○									
								円										
								円										
計								2,800,152円										
別居する控除対象配偶者又は扶養親族	はっほう 八峰 次郎	長男	H16.11.5	19	大学生	秋田中央大学	別居	円	○									
	はっほう 八峰 トシ	母	S22.6.1	76	無職	八峰介護施設	別居	円		○	○							
※高齢者世帯		※同居者18歳未満			障害者等を含む世帯			(1)・(2)・(3)・(4)・(5)・(6)・(7)										
誓約同意書		<p>八峰町長様</p> <p>私たちは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員であることが判明したときは、地域活性化住宅を明渡すことを誓約します。</p> <p>また、資格審査のための照会が関係官公署に対してなされることに同意します。</p> <p style="text-align: right;">自署 八峰太郎</p>																

入居希望者の住宅の困窮事情（該当する番号を○で囲んでください。）	区 分	具体的内容		
	1	住宅以外の建物又は場所に居住している。		
	2	保安上危険又は衛生上有害な状態にある住宅に居住している。		
	3	他の世帯と同居して著しく生活上の不便を受けている。		
	4	住宅がないため親族と同居できない。	別 居 先	
	5	住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上又は風教上不適当な居住状態にある。	実家の1部屋（8畳）を借りて家族3人で住んでいる。	
	6	正当な事由による立退き要求を受けているが適当な立退き先がない （自己の責めに帰すべき事由に基づく場合を除く。）		
	7	遠距離通勤をしている。	交 通 手 段	自家用車
			片道所要時間	1 時間 4 5 分
	8	収入に比して過大な家賃を支払っている。	現在の家賃月額	円
	9	婚約中であるが収入が低額であるため適当な居宅が見つからない。		
10	その他			

- (注)
- 1 申請は1回の公募につき、1世帯1戸限りです。
 - 2 郵送による申請はできません。
 - 3 「所得年額」欄には、次に掲げる額を記入してください。
 - (1) 前年の所得金額に係る所得証明書(所得の種類、扶養親族の数及び各種の控除の内容が記載されているものに限る。以下同じ。)が発行されている場合は、その合計所得の欄に記載されている額
 - (2) 前年の所得金額に係る所得証明書が発行されていない場合は、次に掲げる額の金額。
 - ア 給与所得にあつては、前年分の源泉所得票の給与所得控除の給与等の金額の欄に記載されている額
 - イ 給与所得以外の所得にあつては、前年の収入額から必要経費の額を控除した額
 - 4 申請者又は同居予定者が次のいずれかに該当する場合は、「障害者等を含む世帯」欄の該当する番号を○で囲んでください。
 - (1) 身体障害者でその障害の程度が1級から4級までのもの
 - (2) 精神障害者でその障害の程度が1級又は2級のもの
 - (3) 知的障害者（精神薄弱者）でその日常生活における支障の程度が(2)に掲げる者と同程度のもの
 - (4) 戦傷病者でその障害の程度が特別項症から第6項症まで、又は第1款症のもの
 - (5) 被爆者
 - (6) 非保護者
 - (7) 引揚者で引き揚げた日から5年を経過していないもの
 - 5 前年において、年の途中で就職し、又は退職した場合は「備考」の欄にその旨及びその期日を記入してください。
 - 6 ※印欄には記入しないでください。
 - 7 次に掲げる書類を添付してください。
 - (1) 申請書に記載した者全員の住民票の写し（住民登録しないで遠隔地に居住している特定扶養親族等にあつては、在学証明書、学生証等の写し）
 - (2) 申請書及び同居予定者の市町村長の発行する前年の所得金額に係る所得証明書（当該証明書が発行されていない場合は、給与所得者にあつては前年分の源泉徴収票、及び前々年の所得金額に係る所得証明書、事業所得者等にあつては確定申請書その他の前年の所得金額を明らかにした書類で税務署が受理した旨が明示されているもの、及び前々年の所得金額に係る所得証明書）
 - (3) 退職等により過去1年間に収入がなかった場合は、公共職業安定所の発行する離職票（雇用保険未加入者にあつては、事業主の発行する退職証明書）
 - 8 障害者等を含む世帯であることを証明する書類を添付し、又は申請の際に提示してください。
 - 9 住宅の困窮事情を明らかにした書類を添付し、又は申請の際に提示してください。

退職(予定)証明書

氏 名 _____

現 住 所 _____

勤 務 先 名 _____

勤 務 先 所 在 地 _____

退職(予定)年月日 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

名 称 _____

代 表 者 名 _____

所 在 地 _____

本証明書に関する
問 合 せ 先 _____

退職(予定)証明書

氏 名 八峰 良子

現 住 所 秋田県山本郡八峰町五丁目4-12

勤 務 先 名 (有)峰浜飲料 能代支店

勤 務 先 所 在 地 秋田県能代市向能代字上野町123-8

退職(予定)年月日 令和 元 年 5 月 31 日

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 元 年 5 月 1 日

名 称 (有)峰浜飲料

代 表 者 名 白神 四郎

所 在 地 秋田県山本郡八峰町峰浜水沢字水沢台1

本証明書に関する
問 合 せ 先 0185 - 99 - 9999

婚約証明書

1) _____ 家(長男・次男・三男) _____

2) _____ 家(長女・次女・三女) _____

の両名は現在婚約中であり、令和 _____ 年 _____ 月に結婚する予定であることを証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

1) 住 所 _____

氏 名 _____ 印

2) 住 所 _____

氏 名 _____ 印

※ 親子関係を証明する書類(戸籍謄本、同一世帯であれば住民票でも可)を添付すること

婚約証明書

1) 八峰 家(長男・次男・三男) 八峰 五郎

2) 白神 家(長女・次女・三女) 白神 春子

の兩名は現在婚約中であり、令和元年5月に結婚する予定であることを証明します。

令和 元年 5 月 1 日

1) 住 所 秋田県山本郡八峰町...

氏 名 八峰 一郎 印

2) 住 所 東京都千代田区...

氏 名 白神 一郎 印

※ 親子関係を証明する書類(戸籍謄本、同一世帯であれば住民票でも可)を添付すること